

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設の名称	宮城県仙南総合プール
指定管理者の名称	陽光セントラル共同企業体
施設所管部課(室)	教育庁 スポーツ健康課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成18年 4月 ~ 平成21年 3月	指定管理者	陽光セントラル共同企業体	
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	陽光セントラル共同企業体	
平成24年 4月 ~ 平成29年 3月	指定管理者	陽光セントラル共同企業体	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	陽光セントラル共同企業体
	所在地	仙台市青葉区上杉2丁目3-7
指 定 期 間	平成24年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県仙南総合プール (ヒルズ県南総合プール)	
所在地	柴田郡柴田町大字本船迫字十八津入内	
設置年月	平成11年4月	
根拠条例等	総合運動場条例	
設置目的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため	
施設の内容	敷地面積	22,588.65 m ²
	構造	鉄筋コンクリート造
	内容	温水プール、会議室、合宿室、研修室、トレーニングルーム
開館(所)日	休館日(水曜日、12月29日から1月3日まで)を除く毎日	
開館(所)時間	平日 午前9時から午後9時まで 日・祝日 午前11時から午後7時まで	
指定管理者が行う業務の範囲	1 施設全体の管理運営業務 2 施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の収受に関する業務 3 施設の使用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 施設の機械設備の操作・日常点検業務 5 施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 6 その他施設の管理運営業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利用料金制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	施設利用料金

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
開館(所)日数	308 日	306 日	308 日	100.0%	100.7%
延べ利用者数	62,100 人	62,300 人	49,042 人	79.0%	78.7%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
プール利用者	43,000 人	44,785 人	30,829 人	71.7%	68.8%
トレーニングジム利用者	19,000 人	17,391 人	17,355 人	91.3%	99.8%
会議室利用者	100 人	124 人	858 人	858.0%	691.9%
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	62,100 人	62,300 人	49,042 人	79.0%	78.7%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	32,414	34,404	32,414	100.0%	94.2%
利用料金収入	6,892	7,602	7,281	105.6%	95.8%
その他	46,966	39,511	26,143	55.7%	66.2%
収入計 (a)	86,272	81,517	65,838	76.3%	80.8%

(2) 支出

人件費	20,160	19,569	16,696	82.8%	85.3%
施設管理費	36,000	38,798	27,590	76.6%	71.1%
事業運営費	2,324	1,874	1,488	64.0%	79.4%
その他	27,788	24,594	19,952	71.8%	81.1%
支出計 (b)	86,272	84,835	65,726	76.2%	77.5%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	-3,318	112	#DIV/0!	-3.4%
前期繰越収支差額	-86	472	-86	100.0%	-18.2%
次期繰越収支差額	0	-86	0	#DIV/0!	0.0%

* 次期繰越額は指定管理者で別途決めている。

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 『復興の源＝健康をサポート』の4年目の年でした。スタッフが丸となりお客様の対応を致しました。 ・スポーツを通じて地域の皆様の健康増進に貢献致しました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・親切丁寧な接遇を心がけた結果、多くの方々から支持を得ることができました。 ・地元のみならず、近隣の市町村の健康教室を受け入れた事で利用者を増やすことができました。 		S	<p>適切な人員配置のもと、来場者の立場で対応する等事業計画に沿った管理運営が行われている。</p>	A
人員体制	正規	7人	非正規	7人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・電力の管理においてはデマンド監視装置を設置し、電力使用量を可視化しております。 ・定期点検を中心に施設・設備の維持管理に努めました。また、5ヵ月間(11月～3月)県直営工事の為プールが休館となり、その期間を利用し通常時では出来ない施設・設備のメンテナンスを行いました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの間でもデマンド監視装置に関心を持ち、エコに関する意識が高まりました。 ・施設及び設備機器の安全確認のため予防保全策として保守点検をこまめに実施し、大規模な修繕を未然に防いでおります。 		S	<p>施設設備の自主点検を定期的に行い、修繕必要箇所の早期発見により、修繕費用の削減に努めている。プール閉鎖期間中を活用した施設・設備の総点検等、長期を見据えた施設管理を行っている。</p>	S
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・初心者のお客様を対象とした、トレーニング講習を実施しました。 ・当施設の外部告知(チラシ折込、インターネット、柴田町広報誌)を実施しました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の目的や目標に応じたプログラムを提供し、より利用しやすい環境を整えております。 		S	<p>利用者増を目指したPR事業に工夫が見られる。利用者のニーズに合わせたプログラムの提供など、各種事業を積極的に展開し、かつ地域に密着した事業活動を行っている。</p>	A
④自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・スイミング、バレエ、チアダンス、ヒップホップの各スクールを実施しております。 ・成人向けにプールやスタジオを利用したレッスンを提供しております。 ・外部へのPRとして近隣でのイベントに各ダンススクールのデモンストレーションを行いました。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントに参加することで知名度の向上はもちろん、地域活動の盛り上げに貢献致しました。 		S	<p>地域活動への積極的参加により、地域での認知度を上げ、将来の利用者増加に努めた。幅広い年齢層や利用者の実態に応じた自主事業を展開した。</p>	A
⑤利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第3日曜日の施設無料開放の実施。 ・施設パンフレットの配布およびインターネットの活用。 ・トレーニングジムの講習会の実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ・無料開放日を設けることで健康増進のきっかけの場を提供しております。 ・適切な利用方法を指導することにより、怪我等を未然に防いでおります。 		S	<p>施設の無料開放日を設けることにより、新規利用者の開拓や既存利用者へのサービス向上を図っている。</p>	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は7件のご意見をいただきました。施設について3件、改修工事について4件 		<ul style="list-style-type: none"> ・要望については日々のミーティング等で情報を共有し、可能な限り準則に対応しております。 		S	<p>要望については、職員間で情報の共有化をはかり、早期の回答に努めている。</p>	A
⑦安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のCPR、AED操作、応急処置についての研修実施。 ・法令に基づく設備点検の実施。 ・防火および避難訓練の実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のCPR研修時にはAED練習機を用いた様々な状況設定の下、訓練を行っております。 		S	<p>防火訓練の実施、CPR(心配蘇生法)研修を毎月実施し、スタッフの心肺蘇生技術水準を確保し、安全対策に努めている。</p>	A
⑧県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> ・柴田町広報誌への月間予定表の掲載。 ・インターネット上での利用案内の掲出。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを定期的に掲載内容の見直しを行い、適正化に努めております。 		S	<p>ホームページ、柴田町広報誌を活用し、町内居住者を中心とした幅広い利用者の促進を図っている。</p>	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	・個人情報の管理については施設長を管理責任者とし、適切に取扱っております。また、全スタッフに対して個人情報保護に関する研修を実施しております。	・個人情報関連の研修や管理方法の確認を定期的に行っており、窓口では「お客様から頂く個人情報の取り扱いについて」の案内文をもって個人情報の保護に努めております。	S	個人情報保護規定を定め、利用者にも個人情報の取り扱いについて周知し、個人情報の保護に努めている。	A
⑩利用実績	・前記「4.施設利用実績」の通り	・計画比 -13,058人 ・前年比 -13,258人 ・今年度は5カ月間(11月～3月)県直営工事の為、プールが休館となり計画比及び前年比利用者減となりました。	A	プールの可動床改修工事によりプールを5ヶ月間閉鎖したが、トレーニングルーム及び自主事業での利用者増に努め、想定よりも少ない利用者減となった。	S
⑪収支実績	・前記「5.管理運営収支実績」の通り	・計画比 +11万円 ・前年比 +343万円 ・5カ月間(11月～3月)プールが休館となり収入減となりました。しかし支出を抑えることで計画比及び前年比増となりました。	S	プールの可動床改修工事によりプールを5ヶ月間閉鎖し利用料金収入が減少したが、運営経費の節減に取り組み、収支が黒字となった。	A
⑫その他の取組	・柴田町、県立柴田高校、柴田町立各中学校への会場提供。 ・柴田町内サークルの貸切利用。	・柴田町事業では町民を対象に水中運動教室を開催しております。インストラクターを派遣し、協力しております。 ・県立柴田高校は水球部に部活動の場を提供しております。 ・柴田町内各中学校には水泳授業と部活動の場を提供しております。	S	地元である柴田町の事業に協力し、地域活動に参加するなど、地域住民にも開かれた施設として積極的にPRしている。	A
総合評価		5ヶ月間のプール休止で利用者と利用料金収入は大幅に減となりました。しかし、プール本体が大幅に綺麗になったことで翌年度の増が期待できるものと確信しております。	S	5ヶ月間のプール休止で利用者と利用料金収入が大幅に減少したが、運営努力により収支の健全化に努めた。利用者の立場に立ったきめ細かな施設運営を心がけている。次年度は、工事等もなく年間をとおして営業できることから、新たな利用促進策を講じていただきたい。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	平成28年度～29年度にかけてインターハイをはじめ、開催される大会の数が多くなります。利用者や地域住民、各利用団体への周知を確実にいたします。	平成29年度開催インターハイに向けて、大規模大会開催時のハード面・ソフト面での課題を平成28年度中に洗い出し、対応する必要がある。施設開設から17年が経過し、施設各所が劣化していることから、計画的に修繕を行う必要がある。

別掲 自主事業収支実績(仙南)

(1) 収入 (単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
自主事業収入	44,395	37,977	25,087	56.5%	66.1%
その他	2,571	1,534	1,056	41.1%	68.8%
収入計 (a)	46,966	39,511	26,143	55.7%	66.2%

(2) 支出

人件費	18,786	18,208	14,867	79.1%	81.7%
事業運営費	7,397	5,160	4,110	55.6%	79.7%
販売品仕入	1,605	884	609	38.0%	68.9%
諸経費		343	366	#DIV/0!	106.9%
支出計 (b)	27,788	24,594	19,952	71.8%	81.1%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	19,178	14,917	6,191	32.3%	41.5%
-----------------	--------	--------	-------	-------	-------